

農作物の成長を促すピンク色のフィルムを開発・販売

< 企業概要 >

事業者名	有限会社マテリアルサイエンス・ナガノ	業種	他に分類されない製造業
所在地	長野県岡谷市長地片間町 1 - 5 - 16(岡谷創業支援センター内)	設立年月	平成 17 年(2005 年)6 月
連絡先	電話:0266 - 23 - 8299	E-Mail:info@mspe-tokyo.com	
	http://www.mspe-tokyo.com/		

私たちの会社(事業所)は

母体であるマテリアルサイエンス(株)(東京本社)は、紫外線関連商品など、光の波長を利用した技術を用いた製品開発等を行っている会社であり、ブルーレイディスクを作る機械に欠かせない光関連の製品なども開発しました。

社長の出身地である岡谷地域において、何か還元したいという社長の思いから、(有)マテリアルサイエンス・ナガノを設立し、コアとなる光変換技術を用いた製品開発を中心に事業展開を図っています。

実施したこと

光変換することで植物の育成を促進するピンク色の農業用のフィルムやネットを諏訪東京理科大学と共同開発しました。

県内外の農家の協力のもと、一昨年7月から様々な農作物の栽培で実証実験してきました。

ピンク色フィルムの活用(光変換ピンク農法)の有無による農作物の成長等の比較実験や、冬場の高地(1,100m)における気候変動に左右されない農作物の栽培方法の実験等を行いました。



事業を始めたきっかけ

最初は、太陽エネルギー変換効率の研究からガラスを撃退するネットを開発・製品化。これを農業用にも応用できると考えたことがきっかけです。

紫外線関連商品を開発する際に必要としない光を活用した製品開発を模索するなかで生まれた技術です。

事業成果

光変換ピンク農法と従来農法の比較実験の結果、全ての農場(農作物)で成長が促進され、糖度が増すなどの成果が出ました。また断熱効果も確認され、気候変動に左右されにくい栽培が可能だという結果が得られました。

マスコミに取り上げられる等により、県外からも会社見学の申込が増えています。韓国企業との契約が成立し、海外展開も図ることができました。

平成 21 年 12 月 農業生産法人(株式会社光変換光合成促進農法)を設立。

【同条件における成長の比較実験】



* ピンクフィルム使用



* 従来フィルム使用

事業を実施しての感想・今後起業等を考えている方へのアドバイスなど

化学家の(何でも化けられる(できる)という)発想で様々な製品開発を行っており、失敗することも多いですが、常に安全で高機能なものを提供していきたいと考えています。

高齢者が多い農家において、光変換ピンク農法をわかってもらい、利用してもらうことの難しさを感じています。



中澤富夫 代表取締役

今後の展望、PR等

農業生産法人では、遊休農地を借り、様々な技術を活用して農作物栽培を行う実践農場を作り、多くの方に公開していきたいと思っています。

実践農場を運営するため、地元の雇用も生み出していきたいと考えています。

またピンク色のフィルム等は、多くの方に活用してもらうためインターネット販売を開始しました。

これからも光と土を有効的に活用したアグリカルチャーテクノロジー産業に取り組んでいきたいと思っています。

支援機関・支援内容

県岡谷創業支援センター(インキュベート施設)の利用

長野県農商工連携支援基金助成金(H21年度)

諏訪東京理科大学における光変換光合成促進技術の共同研究